

## これまでの経過と検討会議設置の理由

### 公共施設の老朽化

留萌市における公共施設においては、昭和の年代に整備を行った施設が多く、老朽化によるリスクや維持管理費の増大、改修などの課題を抱えている。

### 庁内検討会議の設置

留萌市では平成30年度に「留萌市公共施設庁内検討会議」を設置し、将来における公共施設に必要な機能の維持に向け、庁舎、社会教育施設等の建替えの必要性について検討を行った。

### 社会教育施設を優先

市民の利用度が高く、国の交付金等支援制度のほか、有利な地方債や民間資金等の活用可能性など、財政負担の軽減も期待できる社会教育施設等の整備を、庁舎より優先して検討を進めていくものとした。

### 駅前周辺地区と道の駅

「駅前周辺地区」と令和2年7月に開業した「道の駅るもい」周辺地区とも一体となった賑わいや交流拠点としてまちづくりの視点をもった中核施設として検討する。

### 官民での問題意識の共有

新たな公共施設の整備にあたっては、官民で問題意識を共有しながらまちづくりの視点をもって将来像を議論していくことが重要である。

留萌市公共施設整備検討会議の設置

# 留萌市公共施設整備検討会議の位置づけと今後の進め方②

2020.10 地域振興部政策調整課

## 検討会議の目的

「道の駅るもい」も含めた「船場公園周辺地区」全体での面的な将来構想を描きながら、「社会教育施設の機能を有する新たな公共施設」の整備に関して、駅前周辺地区での立地誘導を前提とした官民での協議を進め、整備基本構想に反映させる。

## 検討内容等

### 検討にあたっての2つの視点

①船場公園周辺地区の拡張性と来訪者の回遊性  
・道の駅るもいと駅前周辺

②地域の顔となる新たな公共施設の立地誘導 **【社会教育施設機能＋交通結節点機能を基本】**  
・立地要件、適正規模 ・併せ機能(複合機能) ※集約可能な公共施設、民間商業施設 ・整備手法、財源など

第1回目(10月30日)

### 現状・課題等の共有

・会議の位置づけ ・道の駅るもいの開業効果及び今後の整備計画  
・公共施設建替の必要性(庁舎、社会教育施設)※庁内検討会議の結果報告

第2回目(11月中～下旬)

### 事例視察

・室蘭市 生涯学習センター「きらん」  
※施設の複合化の背景、市民意見の反映、民間活力の検討状況 など

第3回目(1月予定)

### 方向性の検討協議

・駅前周辺エリアに集約・誘導が必要な公共機能  
・社会教育施設に要する必要な機能 ・併せ持つ複合機能 など

R3年度

### 具体的な検討協議

・新たな公共施設の機能、立地場所、施設の規模・整備手法などの具体的な検討協議

市へ報告書提出

<2022以降>

常任委員会へ報告  
(11・12・2月)

市民WS  
(2月末頃)

会議での検討内容を踏まえた市民ワークショップ

アンケート等

関係団体へのアンケート調査等

<2021秋頃>  
基本構想

基本計画、基本設計

第2期都市再生整備計画策定